

令和7年度 学校経営方針

墨田区立錦糸中学校

校長 和田 浩二

I 教育目標

人権尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の教育目標を掲げる。

○基礎学力を身に付け、自ら考える生徒を育てる。【知】

○情操を豊かにし、他を思いやる生徒を育てる。 【徳】

○心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒を育てる。【体】

II 錦糸中学校を目指すもの

1 目指す生徒像 ～教育目標の具現化～

「未来への夢や希望をもち、こころざし高く、歩み続ける生徒」

- (1) 基礎学力を身に付け、自ら考える生徒
- (2) 情操を豊かにし、他を思いやる生徒
- (3) 心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒

2 目指す学校像

「伝統ある名門校としての誇りと進取の気風に満ちた品格のある学校」

- (1) わかる喜びとできる楽しさを実感できる学校
- (2) 教師と生徒が強い信頼の絆で結ばれ、保護者に信頼される学校
- (3) 地域とともに歩み、地域が誇れる学校

3 目指す教師像

「明るく元気でハートがあって夢を語れる錦糸中の教師」

- (1) 教科指導や直面する教育課題にも対応できる高い専門性のある教師
- (2) 錦糸中学校の教師である誇りと品格をもち、組織的に協働する教師
- (3) 教育公務員として職責を自覚し、サービスの厳正を図ることができる教師

Ⅲ 令和7年度の重点

① GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール対応

「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する」ために

○今年度は、数学科の自由進度学習や5教科においては、AI型教材（ミライシード、Qubena・ICT問題データベース・デジタル教科書）を活用し、生徒一人一人に個別最適化された問題に取り組ませることで、基礎・基本の定着を図る。

○生徒一人一人が“文房具のように日常的にタブレット端末を使用することができるように、全教員で組織的に実践する。

○生徒が、意見等の共有や協働学習を行う道具としてタブレット端末を活用する。
(学習支援アプリ<ロイロノート・スクール、MetaMoji Classroom等の活用)

○GIGAスクール構想の下で生み出されてきた多様な教育実践の工夫を取り入れ、新しい学びの在り方へと進化を図っていく。

② Apple Distinguished School 2023～2026 の取組

○生徒が自ら考え、発信する力を育むために、道具として『iPad』タブレット端末に搭載されているアプリを活用していく。

○一人一人が好奇心を持って、主体的に学びを楽しむ授業をApple Distinguished Schoolとの交流を通して、創り上げていく。

○デジタルを生かして新しい学びを推進し、『共感力』・『想像力』を育てる。

○Apple Distinguished School 2026～2029に向けて、さらなる高みを目指す。

③ 学校生活の改善〔生徒会を中心とした活動の見直し〕

○生徒自らが、学校生活を見直し、改善する意欲を大切にする。改善すべきものはきちんとした手続きをとって、変更していく。(校則、錦中SNS等の見直し)

○生徒会を中心に、生徒たちの手で学校を創り上げていく気持ちを高め、新しい錦糸中学校を築いていく。

○道德教育の充実とゲストティーチャーによる授業・講演の充実を図り、社会的に自立できる生徒を育成していく。(学校支援ネットワークの活用)

④ 安心して通える学校づくりの推進

○複数担任制を導入し、教員と生徒の信頼関係を基盤とした、心の居場所と絆のある学年、学級経営を進める。また、生徒と担任が気軽に自分の悩みなどを相談することができる二者面談(全学年)『ハートフルウィーク』を年1回以上設定する。

- 特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育校内委員会を毎週 1 回開催し、特別な配慮を要する生徒に対するニーズの把握と適切な対応を推進する。
- 特別な支援を要する生徒への学習支援を充実させる。(学習指導員の配置、個別指導計画の作成、保護者・関係諸機関との連携)
- SOS の出し方に関する教育を徹底して未然防止を図り、早期発見・早期対応を推進する。(「シャボテンログ」の活用)
- 不登校の未然防止や早期対応を目的とした校内SSルームをフルに活用するために、不登校担当教員(加配)と学習支援指導員を配置し、生徒一人一人に応じた支援をさらに充実させ、段階的な教室復帰を目指す。
- 令和7年度に自閉症・情緒障害特別支援学級を新設したことを受け、特別な支援を必要とする生徒たちが安心して学べるかんきょうづくりを推進する。また、全校での理解と支援を深めながら、インクルーシブな学びの実現を目指す。

⑤ 教育を支える環境づくり

- 「錦中ハローワーク」、「職場体験」、「地域人材による面接指導」、「Inspire High」「経済同友会」など、地域・企業・関係機関等協力を得て、自己を理解し、積極的に社会に参加しようとする態度、将来の進路や生き方を考える学習活動を行う。
- 家庭や地域の力を生かした教育や学校が取り組んでいる教育活動が見える化するための情報発信の充実を図る。(学校HP、学校だより、学年だより等の充実)
- 漢字検定・英語検定・数学検定を校内で実施し、生徒が学ぶ意欲を高めるきっかけづくりを推進する。各検定で、3級以上の取得を目指し、計画的に取り組ませる。
- 防災教育の視点を踏まえた教育活動の充実を図る。(地域との連携、消防署と連携した活動)
- 部活動のガイドラインに基づき、適正な部活動指導を展開する。

⑥ 教職員の資質・能力の向上

- 校内研修を月1回実施する。また、授業を積極的に公開し、研究校としての取組を通じて、教職員の授業力向上を目指す。
- 教育公務員としての誇りと責任を持ち、服務事故を未然に防ぐ意識を徹底するとともに、法令遵守と倫理意識の向上に努め、信頼される教職員を目指す。
- 幼保小中一貫教育を推進し、中学校教師の出前授業や保育実習を通じて、思いやりの心を育みながら、地域とつながる魅力ある取組を通して、生徒像にもつながる教育活動を展開します。